

滝沢市立滝沢小学校

校報

滝小の風



第4号 令和7年5月20日 文責 阿部 拓也

【学校教育目標】

かしこい子

心豊かな子

すこやかな子

JUあいさつ運動スタート…小中学生のあいさつが響き渡りました！

5月8日（木）に今年度1回目の「JUあいさつ運動」を行いました。この取組は、小学生と中学生が一緒にあいさつ運動を行うもので、コロナ禍は中断していましたが、再開してから今年で3年目となります。

今回は、中学校の生徒会（2・3年生）と小学校の児童会執行部・応援委員会（5・6年生）が、小学校の中庭で横並びになってあいさつを行いました。中学生の笑顔で元気にあいさつをする姿を手本として、執行部や応援委員会の児童は元気にあいさつをしていました。また、その間を登校する児童も元気なあいさつの勢いに押されてか、その空間一帯に元気なあいさつが響き渡っていました。この取組は、あいさつをする場所を小学校と中学校で交互に変え、月1回のペースで進めていきます。この取組を通して、小中学生間はもちろんのこと、地域にもあいさつの輪が広がっていくことを期待しています。

また、今年度も小中学校連携活動として中学校の応援練習を見学し、これから始まる陸上練習では、陸上部からの指導を受ける予定です。ぜひ、中学生の姿を手本にしたり、アドバイスを受けたりすることを通してレベルアップを目指したいと思います。



【朝の登校風景：中庭】



【小中横に並んでのあいさつ運動】

児童総会…よりよい生活を目指して活発に意見を！

5月16日（金）の3・4校時に児童総会が体育館で行われました。この児童総会は、4年生以上が参加して今年度の執行部や各委員会の活動について話し合いをする会でした。

議事では、児童会執行部や学年執行部、各委員会から滝沢小学校の生活をよりよくするための活動計画の提案があり、その提案に対してたくさんの質問や意見が出されました。「〇〇は、どんな取組なのですか？」とか「〇〇の取組、ありがとうございます。がんばってください」「〇〇のような取組をしてはどうですか」など、要望も含めた前向きな意見がたくさん出された話し合いとなりました。

全校が楽しく学校生活を送るために、執行部や各委員会の活動計画を提案した5・6年生に、自分たちが全校の生活を支えていこうという意欲を感じるとともに、初めて参加した4年生からもたくさんの質問や意見が出され、自分たちのくらしを自分たちで良いものにしていこうという気持ちが伝わった児童会総会でした。これからの子ども達の活動が楽しみです。



【委員会提案での質疑応答の様子】

晴れた日は元気に外遊び！体も心もたくましく…

滝沢小学校の子ども達は、朝も業間時間も昼休み時間も元気に外で遊ぶ姿が多く見られます。

文部科学省が行っている「体力・運動能力調査」によると、現在の子どもの体力・運動能力の結果をその親の世代である30年前と比較すると、ほとんどの項目において、子どもの世代が親の世代を下回っているという結果が出ています。一方で身長や体重など体格についても同様に比較すると、逆に親の世代を上回っているという結果が出ています。つまり、体格は向上しているけれど、体力・運動能力は低下していることから、身体能力の低下が深刻な問題であるとも言われています。

全国の小学生の平日の外遊びやスポーツの時間の調査では、まったくしない児童が27.3%、30分以下が31.4%小学生全体の平均時間が44.8分でした。このような結果から、子ども達が体を動かすことが少なくなっていることが、体力・運動能力の低下につながっているのではないかとされています。

外遊びやスポーツをして体を動かすことには、右上の表のようなメリットがあるとされています。毎日元気に外に出ていく滝沢小学校の子ども達、これからもどんどん外に出て、体を動かすことの心地よさやその効果を実感してほしいものです。



【1年生：初めての外遊び】

【体への良い影響】

- ・体力が向上する
- ・運動能力が伸びる
- ・体が丈夫になる
- ・よく眠ることができる
- ・健康維持につながる
- ・食欲が増す

【心への良い影響】

- ・コミュニケーションの場となる
 - ・自己防衛を学ぶ機会になる
 - ・自信と勇気がわく
 - ・発想力を養う機会になる
 - ・応用力や臨機応変さを鍛える
- ※ 諸説あるうちの一説です



「日報プラス」を活用して学習の深まりと広がりを～高学年に導入・・・

5月2日（金）は6年生に、5月7日（水）は5年生に、岩手日報社の「プラス日報」というソフトについての操作学習会を行いました。（6年生は昨年度も受講しています）

これは、岩手日報社が小学生向けに出しているソフトということもあり、当日は岩手日報社から4～5名の方が来校し、使い方の説明と個々への対応を行いました。今回説明を受けたソフトは、以下のようなことができます。

【タブレットやパソコンを使って・・・】

- 今日の新聞を読む
- 今までの新聞記事を調べる
- 震災・復興の学習をする
- 新聞を作る



【プラス日報の説明を聞き操作する6年生】

子ども達は、配付された資料と講師の方の説明を聞きながら、慣れた手つきで作業を進めていました。タブレットのセキュリティ設定に起因する不具合もありましたが、すぐにスタッフの方が対応してくださり、どの学級も順調に進めることができました。

滝沢市の全小学校で導入している「プラス日報」の良い点は、「ちょっとした時間でもすぐに新聞に目を向けることができる」「これまで掲載された岩手県の記事を検索できる」「震災や復興の学習資料を読むことができる」「さまざまなレイアウトを選び新聞を作ることができる」ことです。

5・6年生は、朝活動の時間に新聞を読み、自分の感想をまとめるという学習活動を継続して行っています。社会や総合的な学習の時間等でも記事を検索したり、震災・復興学習を進めたりする活動を通して、社会の出来事への関心を高めていってほしいと願っています。